

授業科目名	ソーシャルワーク実習指導	単位数	6
担当教員名	橋本 夏美・砂田 淳一郎 大溝 茂・矢原 絵理	担当形態	オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)	社会福祉士として福祉現場の経験がある教員が、実践的視点からソーシャルワーク実習指導について解説する。		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>本科目は「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」とセットで学ぶことにより、様々な問題を抱える人や社会に対し「人や人」「人を環境」を繋げ、効果的な解決策を考えていく。このプロセスを通すことにより、自律的な課題探求能力を身に付けていくことを目的とする。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>(1) ソーシャルワーク実習の意義について理解する。</p> <p>(2) 実習にかかる個別指導および集団指導を通じて、相談援助における具体的な知識や技術を習得する。</p> <p>(3) 社会福祉士として求められる資質や技能、倫理等について、総合的に対応できる能力を身につける。</p> <p>(4) 実践現場において、具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術に結びつける能力を身につける。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>本養成課程の最重要科目である「ソーシャルワーク実習」を有意義かつ有効なものとしていくために、実習の意義、学ぶべき視点、ソーシャルワーク現場での具体的な業務の内容とそこでの視点について、個別指導を中心にして学ぶことを目的とする。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：ソーシャルワーク実習の意義</p> <p>第2回：ソーシャルワーク実習の目標</p> <p>第3回：現場実習としてのソーシャルワーク（1）</p> <p>第4回：現場実習としてのソーシャルワーク（2）</p> <p>第5回：援助関係形成のための基本的理解</p> <p>第6回：ソーシャルワーク実習の確認事項（1）</p> <p>第7回：ソーシャルワーク実習の確認事項（2）</p> <p>第8回：実習先オリエンテーション（事前訪問）</p> <p>第9回：相談援助実習の心得</p> <p>第10回：ゲストスピーカー（施設で働く実習指導者の話を聴く）</p> <p>第11回：ソーシャルワーク演習における利用者の人権尊重</p> <p>第12回：ソーシャルワーク演習における倫理</p> <p>第13回：ソーシャルワーク演習におけるスーパービジョン</p> <p>第14回：ソーシャルワーク実習後の振り返り（1）</p> <p>第15回：ソーシャルワーク実習後の振り返り（2）</p> <p>定期試験</p>			

スクーリングでの学修内容

スクーリングでは、ソーシャルワーク実習の意義と目的についてしっかりと押さえた上で、実習前の確認事項について理解を深める。また、現場で日常的に実習生を指導している方の話を聞くことにより、一層の理解を図っていく。また、実習後のスクーリングでソーシャルワーク実習の振り返りを集団で学び合う。

教科書

なし

参考文献

必要に応じて適宜紹介する。

学生に対する評価

評価基準の詳細については、通常の科目と異なるため別途説明する。